NIE実践報告

1．タイトル：☆レッツリサーチ深川

2．学校名

北海道深川市立一已小学校

3．実践者名（代表者名）

鈴木拓

4．学年

第4学年

5．教科・領域名および受講児童・生徒数

総合的な学習の時間　60人

6．単元（本時の学習課題）名

「自分の住む町深川」

7．目標(狙い)

自分達が住む深川市のよさを見つけ、調べたことや体験したことをもとに行動し、壁新聞にまとめて仲間にわかりやすいように伝え、考えることができる。

8．評価の視点

自分の考えを持ち、収集した資料を壁新聞にまとめ、工夫してレイアウト、文字の大きさや字体が相手に見やすく書け、図表や写真を挿入するなどして書くことができたか。

9．年間指導計画における本単元の位置づけと時数
（または、単元展開および時数と本時の位置づけ）

「レッツリサーチ深川」［総合的な学習の時間：24時間］

10．単元（本時）の学習展開（含む時数）と留意点

①「地球を守る」を具体的に考える。（1時間）
②グループに分かれて、課題を決定する。（2時間）
③課題達成のための手段・方法を考える。（2時間）
④体験、話を聞くなど、それぞれの課題にそった解決方法で調べる。（4時間）
⑤調べたことを壁新聞にまとめる。（6時間）
⑥私たちにできること、「住みよい町深川」を考える。（3時間）
⑦活動全体を振り返り、作文にまとめる。（2時間）

（留意点）
・校内で調べるだけでなく、施設見学や作業体験を勧める。
・できることだけでなく、できそうなことにチャレンジさせる。
・葛藤が生まれるような資料を用意する。

11．児童・生徒の反応、感想・意見

自分が住む深川市をより深く知るために、「環境」「福祉」「自然」などに関心を向けた体験、調査をすることで自分の考えを持ち、仲間同士の葛藤の中でまとめることができた。「壁新聞」により、レイアウト、字体、見やすさなどを工夫しながら、文章構成を考え、どの児童も生き生きと輝かせ、楽しく活動しまとめた。

12．成果と課題

新聞作りを通して、子供が意欲的に取り組み、自分たちがまとめたものを見て充実感を漲らせた。また、調べたことがタイトル別に区切られることによって大変見やすく、内容が伝わりやすいものになった。
今後は、新聞作りの際に専門的な知識を専門家に指導を依頼する等の試み、また児童の発達段階に応じ、新聞作り以外に記事の活用などにも取り組ませたい。